

表紙の題字は私が書きました



播磨小学校6年
田尾あいかさん
の作品です

だれかの笑顔のために

私は、この播磨町が笑顔であふれる町であってほしいと思っています。

私が学校や町内のお店に行った時、自分の周りに笑顔の人が居て、幸せを感じます。

人が笑顔だと、周りも自然と笑顔になってしまいうように、だれかの笑顔が、だれかを幸せにするのかな、と思います。

マスク生活が終わりつつあり、今までマスクで見ることのできなかった口元が見えるようになってきました。笑顔が伝わるチャンスではないかと、私は思います。笑う事で自分の気持ちも伝わり、相手もいい気持ちになります。

コロナが五類になって、今年は色々なイベントが復活しました。みんなが楽しそうにしている姿が見れ、色々な人が関わってくれました。コロナへのルールが変わっている今、私もできるかぎり相手に気持ち伝わるように、笑顔でたくさんの人と関わっていききたいです。

～ステキな出会いがありました～



▲元気に準備体操から（野添コミセン区運動会）



▲みんなで仲良く“でんしゃごっこ”（西こども園）



▲季節の花でまちを彩る「花と緑の協会」

Photo Memory
フォトメモリー

季節の花言葉 マリーゴールド

マリーゴールドの花言葉は「健康」「生命」です。夏から秋にかけて色鮮やかな花を咲かせています。

ざんじ
きょうけい



議会だよりの編集メンバーが新しくなりました。もっと多くの住民の方々に、「議会への興味を持っていただけるような紙面づくりを目指そう」と、委員長をはじめ委員みんなが「わかりやすい発信」を心がけて創っていきますので、これからの2年間、よろしくお願ひいたします。

先日、野添コミセン区の運動会に行ってきました。今年は蓮池小学校体育館内での開催となりましたが、雨にもかかわらず盛況でした。体調や周囲の密集度に応じてマスクの付け外しを皆さんご自分の判断でされており、ウィズコロナで社会が進んでいっているのが感じられました。

私も長く地域のお手伝いをしていきますが、皆さんも今まで行ったことのない地域のイベントに参加したり、お手伝いしてもらえれば、多くの方とつながり、知り合いが増えていきます。知り合いが増えればあいさつが増え、会話も増えます。アフターコロナ、皆さん外に出てつながりを増やし、地域を播磨町をもっと明るく住みやすくしていきます。 (細田)